

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」

2011年総目次（78号～89号。全12号配信）

78号:2011.1.1(土) (16頁)

1. 論文：国民皆保険解体論の系譜とその顛末
（「二木立教授の医療時評(その84)」『文化連情報』2011年月1月号(394号)：14-18頁）
2. 談話：民主党政権で医療は「政治主導」はすでに破綻 医療ツーリズムも頓挫へ
（『週刊東洋経済』2010年12月25日・2011年1月1日合併号(6301号)：164頁）
3. 書評：辰濃哲郎&医薬経済編集部『歪んだ権威－日本医師会 積怨と権力闘争の舞台裏』
医薬経済社,2010,1890円／421頁
（『週刊東洋経済』2010年12月4日号(6298号)：143頁）
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算61回. 2010年分その9：6論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その73）－最近知った名言・警句

79号：2011.2.1(火) (15頁＋別ファイル)

1. 論文：厚労省「医療費等の将来見通し」で注目すべき3つのこと
（「二木立教授の医療時評(その85)」『文化連情報』2011年月2月号(395号)：14-17頁）
2. 近著『民主党政権の医療政策』（勁草書房,2011年2月10日発行,2400円＋税）のはしがきと目次
3. 談話：民主党政権の医療政策 医療の優先順位が低く財源論もなし
（『日経メディカル』2011年1月号(518号)：64頁）
4. 新春座談会：健全な社会を創生する医療－チーム医療・人材育成と医療改革（「日本病院会ニュース」2011年1月10日号(835号)：2-4面。堺常雄日本病院会会長、久常節子日本看護協会会長と。司会は藤原秀臣「日本病院会ニュース」編集委員長・土浦協同病院院長）（別ファイル：110110「日病ニュース」新春座談会.pdf）。
5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算62回. 2010年分その10：5論文）
6. 私の好きな名言・警句の紹介（その74）－最近知った名言・警句

80号：2011.3.1(火) (19頁)

1. 論文：医療への市場原理導入論の30年－民間活力導入論から医療産業化論へ
（「二木立教授の医療時評(その86)」『文化連情報』2011年月3月号(396号)：16-23頁）
2. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その20）：6冊
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
（通算63回. 2010年分その11：6論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その75）－最近知った名言・警句

81号：2011.4.1(金) (本文18頁+別ファイル13頁)

1. 論文：「医療産業」・「医療の産業化」という用語の来歴
(「二木立教授の医療時評(その87)」『文化連情報』2011年月4月号(397号)：19-23頁)
2. 『民主党政権の医療政策』出版記念インタビュー
(『文化連情報』2011年月4月号(397号)：14-18頁)
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算64回. 2011年分その1：6論文)
4. 大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書
(2011年度版、Ver 13) (別ファイル：11院本推薦.doc)
5. 私の好きな名言・警句の紹介(その76) -最近知った名言・警句

82号：2011.5.1(日) (17頁)

1. 論文：東日本大震災で医療・社会保障政策はどう変わるか？
(「深層を読む・真相を解く②」『日本医事新報』2011年4月16日号(4538号)：33-34頁)
2. 論文：T P Pと日本の医療
(「二木教授の医療時評(その88)」『文化連情報』2011年月5月号(398号)：22-26頁。
農文協編『T P Pと日本の論点』農村漁村文化協会,2011年4月25日,90-96頁(「医療時評」論文の第1パラグラフのみ削除)
3. 論文：なぜ民主党政権で医療分野への市場原理導入論が復活したのか？
(新連載「深層を読む・真相を解く①」『日本医事新報』2011年月4月2日号(4536号)：31-32頁。『文化連情報』2011年5月号(398号)：27-29頁に転載)
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算65回. 2011年分その2：5論文)
5. 私の好きな名言・警句の紹介(その77) -最近知った名言・警句

83号：2011.6.1(水) (15頁)

1. 論文：日本の民間病院の「営利性」と活力
(「二木教授の医療時評(その90)」『文化連情報』2011年月6月号(399号)：20-25頁)
2. 談話：厚生労働省「社会保障制度改革の方向性と具体策」を読んで-総論には注目すべき点もあるが「医療と介護」は給付抑制偏重
(『日本医事新報』2011年5月21日号(4543号)：13頁)
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算66回. 2011年分その3：6論文)
4. 私の好きな名言・警句の紹介(その78) -最近知った名言・警句

84号：2011.7.1(金) (22頁)

1. 論文：集中検討会議「社会保障改革案」を読む
(「二木教授の医療時評(その92)」『文化連情報』2011年月7月号(400号)：26-31頁)

2. 論文：医療・社会保障・社会に対する国民意識の変化をどう読むか？（「深層を読む・真相を解く③」『日本医事新報』2011年6月4日号（4545号）：31-32頁）
3. 講演録：「あるべき医療」と「ある医療」の相克－東日本大震災と福島第一原発事故後の医療政策を考える（2011年6月25日 日本学術会議公開シンポジウム：社会サービスのユニバーサル・デザイン）
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算67回．2011年分その4：5論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その79）－最近知った名言・警句

85号：2011.8.1(月)（24頁）

1. 論文：介護予防の問題点－医療経済・政策学の視点から（『地域リハビリテーション』2011年7月号（6巻7号）：522-527頁。「二木教授の医療時評(その93)」『文化連情報』2011年月8月号（401号）：22-28頁に転載）
2. 論文：「社会保障・税一体改革成案」をどう読むか？（「深層を読む・真相を解く④」『日本医事新報』2011年7月16日号掲載（4551号）：33-34頁）
3. 書評：島崎謙治『日本の医療 制度と政策』東大出版会,2011（『医療経済研究機構レター』2011年7月号（No.199）：56-57頁）
4. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その21）：9冊
5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算68回．2011年分その5：5論文）
6. 私の好きな名言・警句の紹介（その80）－最近知った名言・警句

86号：2011.9.1(木)（20頁）

1. 論文：国民皆保険50年－「いつでも、どこでも、だれでも」という標語の来歴を探る（「二木教授の医療時評(その94)」『文化連情報』2011年月9月号（402号）：26-35頁）
2. 論文：受診時定額負担・免責制は保険の原点か？－吉川洋氏の主張とその問題点（「深層を読む・真相を解く⑤」『日本医事新報』2011年8月20日号（4556号）：33-34頁）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算69回．2011年分その6：5論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その81）－最近知った名言・警句

87号：2011.10.1(土)（15頁）

1. 論文：医療ツーリズムの新種「病院輸出」は成功するか？（「深層を読む・真相を解く⑤」『日本医事新報』2011年9月17日号（4560号）：33-34頁）
2. 学会発表：日本における医療への市場原理導入論の批判的検討（第7回社会保障国際学術大会で発表。2011年9月3日、韓国・釜山）

3. 「医療時評 (その94)」の補足・訂正：「いつでも、どこでも、だれでも」の初出は1962年の「沢内村地域包括医療計画」（『文化連情報』2011年10月号（403号）：24頁）および「補足・訂正」の再補足
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算70回、2011年分その7：6論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その82）－最近知った名言・警句

88号：2011.11.1(火)（13頁）

1. 論文：吉村仁氏の「医療費亡国論」は幻か？－1980年代前半の「医療費適正化」政策の再検証
（「二木教授の医療時評（その96）」『文化連情報』2011年11月号（404号）：14-18頁）
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算71回、2011年分その8：6論文）
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その83）－最近知った名言・警句

89号：2011.12.1(木)（16頁＋別ファイル16頁）

1. 論文：混合診療裁判の最高裁判決とその新聞報道をどうよむか？
（「深層を読む・真相を解く⑧」『日本醫事新報』2011年11月12日号（4568号）：34-35頁）
 2. 論文：民主党政権の「新成長戦略」・「ライフ・イノベーションによる健康大国戦略」の複眼的検討
（「二木教授の医療時評（その97）」『文化連情報』2011年12月号（405号）：18-23頁）
 3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算72回、2011年分その9：6論文）
 4. 私の好きな名言・警句の紹介（その84）－最近知った名言・警句
- 補. 「ニューズレター」2011年総目次（78～89号、全12号）（別ファイル：11NL目次.doc）
－医療経済・政策学関連の洋書・英語論文の目次、名言・警句の人名索引付き。

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」2011年（78～89号）

最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介
2011年目次：合計15冊

80号:2011.3.1（火）：6冊

○『医療ツーリズム－国際貿易を通じた社会的厚生』

(Reisman D: Health Tourism - Social Welfare Through International Trade. Edward Elgar, 2010, 198 pages) [研究書]

○『アメリカの世論と医療』

(Blendon RJ, Brodie M, et al: American Public Opinion and Health Care. CQ Press, 2011, 530 pages) [研究書]

○『国家と医療－OECD加盟国の比較』

(Rothgang H, Cacace M, et al: The State and Healthcare - Comparing OECD Countries. Palgrave, 2010, 278 pages) [国際比較研究]

○『健康と医療における効率測定』

(Hollingsworth B, Peacock SJ: Efficiency Measurement in Health and Health Care. Routledge, 2008, 157 pages) [中級教科書]

○『医療における費用効果分析〔・費用効用分析〕の応用方法』

(Gray AM, Clarke PM, et al: Applied Methods of Cost-Effectiveness Analysis in Health Care. Oxford University Press, 2011, 313 pages) [中級教科書]

○『医療における信頼の検証－学際的視点』

(Pilgrim D, Tomasini F, et al: Examining Trust in Health Care - A Multidisciplinary Perspective. Palgrave, 2011, 226 pages) [理論書]

85号:2011.8.1(月)：9冊

○『オックスフォード版医療経済学ハンドブック』

(Glied S, Smith PC (eds.): The Oxford Handbook of Health Economics. Oxford University Press, 2011, 967 pages) [上級教科書・百科事典]

○『医療の政治・政策〔英語重要論文選〕』

(Tolleson-Renehart S, Peterson MA (eds.): Health Politics and Policy. Sage, 2011, Volume 1:412 pages, Volume 2:423 pages, Volume 3:292 pages, Volume 4:314 pages) [研究論文選]

○『医療制度改革〔英語重要論文選〕』

(Marmor T, Wendt C (eds.): Reforming Healthcare Systems. An Elgar Research Collection, 2011, Volume 1:667 pages, Volume 2:623 pages) [研究論文選]

○『イノベーションと医療－理論、方法と応用』

(Grebel T: Innovation and Health - Theory, Methodology and Applications. Edward Elgar, 2011, 187 pages) [研究書（理論研究）]

○『肥満の経済的側面』

(Grossman M, Mocan N (eds.): Economic Aspects of Obesity. The University of Chicago Press, 2011, 394 pages) [研究書 (論文集)]

○『高齢期死亡率の国際的格差－諸側面と原因』

(Crimmins EM, Preston SH, Cohen B (eds.): International Differences in Mortality at Older Ages - Dimensions and Sources. The National Academies Press, 2010, 418 pages) [国際比較研究]

○『医療の民主化－政策過程における消費者グループ [の役割の国際比較] 』

(Loefgren H, de Leeuw E, Leahy M (eds.): Democratizing Health - Consumer Groups in the Policy Process. Edward Elgar, 2011, 261 pages) [国際比較研究 (論文集)]

○『利害衝突と医療の将来－アメリカ、フランスと日本』

(Rodwin MA: Conflicts of Interest and the Future of Medicine. Oxford University Press, 2011, 375 pages) [国際比較研究]

○『医療のジレンマ－ヨーロッパ3か国とアメリカの [事例研究に基づく] 医療制度比較』

(Armstrong EG, Fischer MR, Parsa-Parsi RW, Wetzel MS: The Health Care Dilemma - A Comparison of Health Care Systems in Three European Countries and the US. World Scientific, 2011, 443 pages) [国際比較研究]

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2011年(78～89号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文目次:合計67論文

78号(2011.1.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算61回. 2010年分その9:6論文)

○医療費の決定要因：セミパラメトリック推計から得られた新しい結果

(Herwartz H, et al: The determinants of health-care expenditure: New results from semiparametric estimation. Health Economics 19(3):964-978,2010) [量的研究]

○【アメリカの医療の】質改善運動の終焉—価値【費用対質】の向上よ永遠なれ

(Brook RH: The end of the quality improvement movement - Long live improving value. Journal of the American Medical Association 304(16):1831-1832,2010) [評論]

○【先進諸国の】生存率の変化はアメリカ医療について何を教えているか？

(Muennig PA, et al: What changes in survival rates tell us about US health care. Health Affairs 29(11):2105-2113,2010) [国際比較研究]

○【アメリカでの】医療事故の一律開示は患者の訴訟傾向や医療者の質評価にどのように影響するか？—調査データから得られた根拠

(Helmchen LA, et al: How does routine disclosure of medical error affect patients' propensity to sue and their assessment of provider quality? Evidence from survey data. Medical Care 48(11):955-961,2010) [量的研究]

○スウェーデンにおける統合された医療・社会的ケア組織：1自治体における単一の公的医療・社会ケアシステムの創造と構造

(Ovretveit J, et al: An integrated health and social care organisation in Sweden: Creation and structure of a unique local public health and social care system. Health Policy 97(2-3):113-121,2010) [事例研究]

○似ているが相当違う：ヨーロッパ6か国の長期ケア政策における現金給付【の比較】

(Da Roit, et al: Similar and yet so different: Cash-for-care in six European countries' long-term care policy. The Milbank Quarterly 88(3):286-309,2010) [国際比較研究]

79号(2011.2.1)

5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算62回. 2010年分その10:5論文)

○医療旅行が【アメリカの】医療サービスの輸出入に与える影響

(Johnson TJ, et al: Impact of medical travel on imports and exports of medical services. Health Policy 98(2-3):171-177,2010) [量的研究]

○【日本の】歯科医師数増加が彼らの地理的分布に与える影響は医師とは異なる

(Toyokawa S (豊川智之), Kobayashi Y (小林廉毅): Increasing supply of dentists induces their geographic diffusion in contrast with physicians in Japan. Social Science & Medicine 71(11):2014-2019,2010) [量的研究]

○ドイツの糖尿病管理プログラムは医療の質を改善し医療費 [の伸び率] を抑制する
(Stock S, et al: German diabetes management programs improve quality of care and curb costs. Health Affairs 29 (12) :2197-2205,2010) [量的研究]

○ [高所得] 11か国において、医療保険の設計は、所得階層別の医療アクセスと [自己負担] 費用にどのように影響しているか

(Schoen C, et al: How health insurance design affects access to care and costs, by income, in eleven countries. Health Affairs 29 (12) :2323-2334,2010) [国際比較調査]

○特集：経路依存 [説] を超えて—医療制度改革を説明する

(Special issue: Beyond path dependency: Explaining health care system change. Journal of Health Politics, Policy and Law 35 (4) :449-688,2010) [理論研究・国際比較研究]

80号(2011.3.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算63回. 2010年分その11:6論文)

○ [アメリカの] 病院医療では患者アメニティの重要性が増しつつある

(Goldman DP, et al: The emerging importance of patient amenities. New England Journal of Medicine 363 (23) :2185-2187,2010) [評論]

○ [アメリカの] ウェルネス [目的の補完代替医療] 消費者の [伝統的] 医療利用

(Kannan VD, et al: Medical utilization among wellness consumers. Medical Care Research & Review 67 (6) :722-736,2010) [量的研究]

○ [アメリカにおける] 幅広い手術を対象にした手術の安全性と病院の手術数 [との関連]

(Eggle Y, et al: Surgical safety and hospital volume across a wide range of interventions. Medical Care 48 (11) :962-971,2010) [量的研究]

○ [アメリカの病院の] 攻撃的治療スタイルと手術のアウトカム [との関連]

(Silber JH, et al: Aggressive treatment style and surgical outcomes. Health Services Research 45 (6, Part 2) :1872-1892,2010) [量的研究]

○ [アメリカの] メディケア患者の入院医療費の効能 [と無駄] についての根拠

(Kaestner R, et al: Evidence on the efficacy of inpatient spending on Medicare patients. The Milbank Quarterly 88 (4) :560-594, 2010) [量的研究]

○時は金なり：機会費用と [アメリカの] 医師の1996～2005年の慈善医療提供

(Wright DB: Time is money: Opportunity cost and physicians' provision of charity care 1996-2005. Health Services Research 45 (6, Part 1) :1670-1692,2010) [量的研究]

81号(2011.4.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算64回. 2011年分その1:6論文)

○韓国の国民健康保険—過去30年間の経験

(Jeong H-S: Korea's National Health Insurance - Lessons from the past three decades. Health Affairs 30 (1) :136-144, 2011) [医療政策研究]

○医療の質と医療サービスの国際化：医療ツーリズム企業の認証と規制監督

(Turner LG: Quality in health care and globalization of health services: Accreditation and regulatory oversight of medical tourism. International Journal for Quality in Health Care 23 (1):1-7, 2011) [評論]

○ **【アメリカにおける】ホスピスの営利・非営利の違いと患者の病名、ケアの提供場所およびサービス提供日数との関連**

(Wachterman MW, et al: Association of hospice agency profit status with patient diagnosis, location of care, and length of stay. Journal of the American Medical Association 305 (5):472-479, 2011) [量的研究]

○ **【アメリカでは】1人当たり対人医療費の性・年齢による違いは大きい**

(Cyus J, et al: Pronounced gender and age differences are evident in personal health care spending per person. Health Affairs 30 (1):153-160, 2011) [量的研究]

○ **アメリカの高額免責制の医療保険加入者のうち慢性疾患を持つ構成員のいる者の半数近くは大きな経済的負担を感じている**

(Galbraith AA, et al: Nearly half of families in high-deductible health plans whose members have chronic conditions face substantial financial burden. Health Affairs 30 (2):322-331, 2011) [量的研究]

○ **【オランダの2006年医療保険制度改革の評価をめぐるディベート】オランダの医療【保険】制度における【医療サービス】購入者【間】競争の効果：コップ【の水】は半分満たされているか、それとも半分空なのか（他3論文）**

(Schut FT, et al: Effects of purchaser competition in the Dutch health system: Is the glass half full or half empty? Health Economics, Policy and Law 6 (1):109-123, 2011. 4論文全体は109-145 pages) [医療政策研究・ディベート]

82号(2011.5.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算65回. 2011年分その2:5論文)

○ **保健医療は市場の力に対して脆弱である**

(Brezis M, et al: Vulnerability of health to market forces. Medical Care 49 (3):232-239,2011) [総説・ディベート]

○ **OECD加盟【13か】国における健康【平均寿命】とGDPの関係の超長期的検討**

(Swift R: The relationship between health and GDP in OECD countries in the very long run. Health Economics 20 (3):306-322,2011) [量的研究]

○ **【アメリカの】メディケア加入者の【重篤慢性疾患の】診断頻度と死亡リスクの地域差**

(Welch HG, et al: Geographic variation in diagnosis frequency and risk of death among Medicare beneficiaries. JAMA 305 (11):1113-1118,2011) [量的研究]

○ **【日本における】全国規模の診療報酬【DPC】データベースを用いた病院の【急性胆管炎の】患者数が診療ガイドライン遵守に与える影響についての観察研究**

(Murata A(村田篤彦), Matsuda S(松田晋哉), et al: An observational study using a national administrative database to determine the impact of hospital volume on compliance with clinical practice guidelines. Medical Care 49 (3):313-320,2011) [量的研究]

○医療サービス・マネジメント研究での質的研究法の使用：10年間の文献レビュー

(Weiner BJ, et al: Use of qualitative methods in published health services and management research: A 10-year review. Medical Care Research and Review 68 (1):3-33,2011) [文献レビュー]

83号(2011.6.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算66回. 2011年分その3:6論文)

○ [アメリカにおける医療の] 質改善の旅は続く：次のステップは高信頼性

(Chassin MR, et al: The ongoing quality improvement journey: Next step, high reliability. Health Affairs 30 (4):559-568,2011) [総説]

○ [アメリカにおける] 入院医療への質に基づく支払いの効果：質改善の教訓

(Werner RM, et al: The effect of pay-for-performance in hospitals: Lessons for quality improvement. Health Affairs 30 (4):690-698,2011) [量的研究]

○ [アメリカの] 病院はどのくらい費用を転嫁しているか？ 文献レビュー

(How much do hospitals cost shift? A review of the evidence. The Milbank Quarterly 89 (1):90-130,2011) [文献レビュー]

○医薬品の開発費用：体系的文献レビュー

(Morgan S, et al: The cost of drug development: A systematic review. Health Policy 100 (1):4-17,2011) [文献レビュー]

○イギリスのNHSは論争的でリスクが大きい市場主義的医療改革に乗り出す

(Roland M, et al: English NHS embarks on controversial and risky market-style reforms in health care. The New England Journal of Medicine 364 (14):1360-1366,2011. [評論]

○カナダの成績表－健康 [日本は16か国のトップ]

(The Conference Board of Canada: A report card on Canada - Health.
<http://conferenceboard.ca/hcp/Details/Health.aspx>)

84号(2011.7.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算67回. 2011年分その4:5論文)

○なぜ統合医療 [提供システム] はアメリカで広く普及せず、イギリスではまったく存在しないのか？

(Bevan G, et al: Why hasn't integrated health care developed widely in the United States and not at all in England? Journal of Health Politics, Policy and Law 36 (1):141-164,2011) [比較研究]

○ [アメリカでの] 手術 [支援] ロボットの普及と根治的前立腺摘出術実施率との関連

(Makarov DV, et al: The association between diffusion of the surgical robot and radical prostatectomy rates. Medical Care 49 (4):333-339,2011) [量的研究]

○ [壺から] 逃げた魔神の記録：ロボット [支援] 手術

(Barry M: Documenting the genie's escape: robotic surgery. Medical Care 49 (4):340-342,2011) [評論]

○死への接近が疾病別の入院医療費に与える影響の探索：薫製ニシン〔人の注意を逸らすもの〕への前菜

(Wong A, et al: Exploring the influence of proximity to death on disease-specific hospital expenditures: A carpaccio of red herrings. Health Economics 20 (4) :379-400,2011) [量的研究]

○〔オランダの公的〕長期ケア費用の決定要因：年齢、死亡までの期間、それとも障害？

(de Meijer C, et al: Determinants of long-term care spending: Age, time to death or disability? Journal of Health Economics 30 (2) :425-438,2011) [量的研究]

85号(2011.8.1)

5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算68回. 2011年分その5:5論文)

○〔アメリカの〕病院の地域での健康増進サービス：文献レビューから得られた知見

(Olden PC, et al: Hospitals' health promotion services in their communities: Findings from a literature review. Health Care Management Review 36 (2) :104-113,2011) [文献レビュー]

○〔アメリカにおける〕高齢者の〔病院〕救急診療科受診：趨勢、適切性および満たされない医療ニーズについての文献レビュー

(Gruneir A, et al: Emergency department use by older adults: A literature review on trends, appropriateness, and consequences of unmet health care needs. Medical Care Research and Review 68 (2) :131-155,2011) [文献レビュー]

○アメリカでの〔病院の〕救急診療科閉鎖に関連した諸要因

(Hsia RY, et al: Factors associated with closures of emergency departments in the United States. Journal of the American Medical Association 305 (19) :1978-1985,2011) [量的研究]

○〔アメリカでの〕高リスク手術における病院の手術数と手術死亡率の動向

(Finks JF, et al: Trends in hospital volume and operative mortality for high-risk surgery. The New England Journal of Medicine 364 (22) : 2128 -2137,2011) [量的研究]

○ドイツの〔急性期〕病院産業における利潤需要縮小下の市場拡大

(Schwierz C: Expansion in markets with decreasing demand-for-profits in German hospital industry. Health Economics 20 (6) :675-687,2011) [量的研究]

86号(2011.9.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算69回. 2011年分その6:5論文)

○社会サービスの民営化：スウェーデンの高齢者ケアにおける〔公私事業者の〕質の差

(Stolt R, et al: Privatization of social services: Quality difference in Swedish elderly care. Social Science and Medicine 72 (4) :560-567,2011) [量的研究]

○公立病院の民営化、企業化、自律性および説明責任についての問いはいつか解決されるか？

(Braithwaite J, et al: Can questions of the privatization and corporatization, and the autonomy and accountability of public hospitals, ever be resolved? Health Care Analysis 19 (2) :133-153,2011) [文献レビュー、質的研究]

○質調整生存年1年〔延長〕に対する支払い意志〔額〕：意思決定には1つの閾値で充分か？〔中国の2都市の〕慢性前立腺炎患者〔と一般住民〕対象の調査結果

(Zhao FL, et al: Willingness to pay per quality-adjusted life years: Is one threshold enough for decision-making? Results from a study in patients with chronic prostatitis. Medical Care 49(3):267-272,2011) [量的研究]

○医療介入の優先順位決定に関するイギリス国民の選好を理解する：得られる健康便益は重要か？

(Mason H, et al: Understanding public preferences for prioritizing health care interventions in England: Does the type of health gain matter? Journal of Health Services Research and Policy 16(2):81-89,2011) [質的研究]

○〔アメリカにおける〕精神疾患を持つ人々の超過死亡を理解する－全国代表標本を用いた17年間の追跡調査

(Druss BG, et al: Understanding excess mortality in persons with mental illness: 17-year follow up of a nationally representative US survey. Medical Care 49(6):599-604,2011) [量的研究]

87号(2011.10.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算70回. 2011年分その7:6論文)

○疾病管理プログラムが糖尿病、うつ病、心疾患または慢性閉塞性肺疾患患者の医療費に与える影響：体系的文献レビュー

(de Bruin SR, et al: Impact of disease programs on healthcare expenditures for patients with diabetes, depression, heart failure or chronic obstructive pulmonary disease: A systematic review of the literature. Health Policy 101(2):105-121,2011) [文献レビュー]

○糖尿病医療の〔構造・プロセスの〕質指標と患者のアウトカムとの関係：体系的文献レビュー

(Sidorenkov G, et al: Relation between quality-of-care indicators for diabetes and patient outcomes: A systematic literature review. Medical Care Research and Review 68(3):263-289,2011) [文献レビュー]

○服薬遵守は糖尿病患者のメディケア医療費を減らすか？

(Stuart B, et al: Does medication adherence lower Medicare spending among beneficiaries with diabetes? Health Services Research 46(4):1180-1199,2011) [量的研究]

○アメリカ〔・マサチューセッツ州〕の成人を対象にした血圧改善管理〔プログラム〕の医療費に与える影響

(Nuckols TK, et al: Cost implications of improving blood pressure management among U.S. adults. Health Services Research 46(4):1124-1157,2011) [量的研究]

○〔アメリカ・マサチューセッツ州の〕入院患者の〔自己の診療への〕参加とそれが医療の質と患者安全に与える影響

(Weingart SN, et al: Hospitalized patients' participation and its impact on quality of care and patient safety. International Journal of Quality in Health Care 23(1):269-277,2011) [量的研究]

○〔アメリカ・マサチューセッツ州の施策の〕分析はメディケアでの質に応じた支払い（P

4 P) が人種・民族間の [医療] 格差を効率的に減らせることへの疑問を呈する
(Blustein J, et al: Analysis raises questions on whether pay-for-performance in Medicaid can efficiently reduce racial and ethnic disparities. Health Affairs 30(6):1165-1175,2011) [量的研究]

88号(2011.11.1)

**2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算71回. 2011年分その8:6論文)**

○ [オランダにおける] 基準年の健康と継続的入院費用の関係

(Wouterse B, et al: The relationship between baseline health and longitudinal costs of hospital use. Health Economics 20(8):985-1008,2011) [量的研究]

○ メディケアのための管理競争? オランダからの酔いを覚ます教訓

(Okma KGH, et al: Managed competition for Medicare?: Sobering Lessons from the Netherlands. The New England Journal of Medicine 365(4):287-289,2011) [評論]

○ 病院認証と入院医療への患者満足とに関連はあるか? [ドイツの] 73病院で治療を受けた3万7000人の調査

(Sack C, et al: Is there an association between hospital accreditation and patient satisfaction with hospital care? A survey of 37000 patients treated by 73 hospitals. International Journal for Quality in Health Care 23(3):278-283,2011) [量的研究]

○ 質改善は正当性危機に直面しているか? 調査の質の低さと効果の少なさ

(Groene O: Does quality improvement face a legitimacy crisis? Poor quality studies, small effects. Journal of Health Services Research and Policy 16(3):131-132,2011) [評論 (小文献レビュー)]

○ [デンマークにおける] 脳卒中ユニットでの医療の質と患者アウトカム [との関連] - 診療科の違いは重要か?

(Svendsen ML, et al: Quality of care and patient outcome in stroke units - Is medical specialty of importance? Medical Care 49(8):693-700,2011) [量的研究]

○ 特集: [アメリカの] 医療改革についての評論集

(Special issue: Critical essays on health care reform. Journal of Health Politics, Policy and Law 36(3):367-633,2011) [論文集]

89号(2011.12.1)

**3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算72回. 2011年分その9:6論文)**

○ 「 [アメリカの] メディケイド拡大の効果 - オレゴン州の実験から学ぶ」

(Baicker K, et al: The Effects of Medicaid coverage - Learning from the Oregon Experiment. The New England Journal of Medicine 365(8):683-685,2011) [量的研究の紹介]

○ [アメリカにおける] 医療費と高齢者の健康 [の関連]

(Hadley J, et al: Medical spending and the health of the elderly. Health Services Research 46(5):1333-1361,2011) [量的研究]

○ [アメリカにおける] 事前指示書と終末期メディケア医療費の関連の地域的バラツキ

(Nicholas LH, et al: Regional variation in the association between advanced directives and

end-of-life Medicare expenditures. JAMA 306 (13):1447-1453,2011) [量的研究]

○健康の決定要因と保健医療政策としての社会政策に関するアメリカの世論

(Robert SA, et al: US opinions on health determinants and social policy as health policy. American Journal of Public Health 101 (9):1655-1663,2011) [量的研究]

○アメリカとカナダの医師の医業 [比較] : [アメリカの医師は] 保険者との交渉に4倍近い金を費やしている

(Morra D, et al: US physician practices versus Canadians: Spending nearly four times as much money interacting with payers. Health Affairs 30 (8):1443-1450,2011) [量的研究]

○「 [アメリカおける] 医薬品開発に影響する主要な法令の実績レビュー : 過去の経験、効果と意図せざる結果」

(Kesselheim AS: An empirical review of major legislation affecting drug development: Past experiences, effects, and unintended consequences. The Milbank Quarterly 89 (3):450-502,2011)
[政策研究・文献レビュー]

「私の好きな名言・警句の紹介」2011年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフはその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

遠藤周作(78),梅棹忠夫(79,84),池上直己(80),アルバート,M(80),伊丹敬之(80),岡田玲一郎(80),入江杏の夫(80),稲葉正(80),岩田健太郎(81),内田樹(81),池内了(82),岡井隆(82),芥川龍之介(82),小熊秀雄(82),稲田龍一(82=49),大畑大介(82),大野晃(83),ウィルバーフォース,W(83),五百旗頭真(83),オストロフスキー,N(83),エッセル,S(83),小沢昭一(83),内橋克人(83),アイエンガー,S(84),井上ひさし(84),岩瀬仁紀(84),落合博満(84),イングロ・カズオ(84),赤川次郎(85),伊丹万作(85),内村航平(85),オレル,D(86),小熊英二(86,88),浅尾拓也(88),大和田新(88),池澤夏樹(88),大江健三郎(88),イチロー(88),アラン(88),植田和男(89),フェルミ(89),天野祐吉(89),大木聖子(89),梅原猛(89)

か行

玄田有史(78),河野一郎(78),カストロ,BI(78),笠間治雄(79),「クレヨンしんちゃん」(79=51),栗城史多(79),柏原竜二(79),キャンベル,JC(80),蒲島郁夫(80),郷ひろみ(80),黒岩比佐子(80),後藤芳一(81),川上武(83),「Gonzo～ならず者ジャーナリスト」,カザルス,P(83),小林マサ子(83),金満里(84),木田元(85),片山杜秀(85),後藤和智(85),小出裕章(85),小松左京(85),ケネディ,P(86),カザルス,P(86),ゲーテ(87),ケインズ(87=10),加藤健一(87),姜尚中(87),北野大(88),梯久美子(88),河合弘史(88),劇団ひとり(88),小松雅宏(89),角田光代(89),木村真三(89)

さ行

桜井邦朗(78=13),最高検察庁(79),沢村拓一(79),ストーン,O(80),堺常雄(80),菅原琢(80),サンデル,M(80),「情念」(80),諏訪兼位(81=13),サン＝テグジュペリ(81),島田裕巳(82),佐藤優(82),清水幾太郎(83),佐藤忠良(83),佐々木常夫(84,87),斎藤清二(84),シュベスマン,J=P(84),シューマッハー,EF(86),三遊亭圓窓(86),進藤兼人(86),進藤榮一(87),佐倉統(89),佐野真一(89)

た行

ドラッカー(78,79),トインビー(78=5),高橋伸夫(78),竹中波堅(79),タレブ,NN(79),堤修三(79),チャンドラー(79),豊田泰光(80),塚越寛(81),高木仁三郎(82,84),鶴見俊輔(82),トンブソン,HS(83),キーン,D(83),豊崎由美(84),「東京ブルース」(85),巽孝之(85),寺澤芳男(86),近森正幸(86),辰濃和男(87),リンドバーグ,AM(87),田淵成明(87),武谷三男(87),田中弥生(88),滝順一(89),徳永サノ(89)

な行

中坊徹次(79),中澤正夫(81),中井久夫(81,89),ネルケ無法(81,85),中沢啓治(85),なだいなだ(85),錦織圭(85),二木立(86),西村周三(89),西岡秀雄(89)

は行

羽生善治(78),ビナード,A(78,81,82),白鳳(79),ブラウン,JR(80),ビンセント,K(80),フランプ
ール(80),早川誠(81),ドーア,R(81),フランクフル,V(81),林望(82,82),藤原帰一(82),日垣隆
(84=21),フランスドゥー(84),ハイエク,FA(87),蓮見重彦(88)

ま行

マーシャル,B(78),三浦哲郎(78),森村誠一(78,81,82),水谷豊(78),三宅久之(78),三宅養三
(79),宮部みゆき(81,83),むのたけじ(82),モイニハン,DP(83=44),森本雅樹(83),松沢哲郎
(84),向井理(84),村上春樹(85),御厨貴(85),村田兆治(85),森永卓郎(87),むのたけじ(87)

や行

柳田敏雄(78),湯川秀樹(78=5),与謝野馨(78),山口二郎(79),山田洋次(81),屋名池誠(86)

ら行

ロマン・ロラン(79),ルメット,S(84),ラヴィーン,A(85),ロビンソン,J(86)

わ行

和田章(85),渡辺喜美(85),渡辺一夫(88),和田豊(89)